

研究機関：広島大学

研究課題名	<i>Clostridioides difficile</i> 臨床分離株を用いた抗菌性物質感受性評価
研究責任者名	広島大学医系科学研究科 細菌学教室 教授 小松澤 均
研究期間	2020年3月23日（倫理委員会承認後）～ 2025年3月31日
対象者	2018年10月18日から2021年3月31日の間に、広島大学病院の通常診療において一般細菌培養検査を実施された方。
意義・目的	本研究では、 <i>Clostridioides difficile</i> 分離菌を用いて、抗菌薬、植物などの天然由来抗菌性物質、微生物の産生する抗菌性物質（バクテリオシン）等の抗菌性物質感受性評価を行い、 <i>C. difficile</i> に対する新しい抗菌薬の探索および <i>C. difficile</i> の除菌を目指したプロバイオティクスへの応用を目的としています。本研究は本学で承認された先行疫学研究（E-1395 糞便検体中の毒素産生 <i>Clostridioides difficile</i> 検出に対する試薬の性能評価）において、広島大学病院で分離した菌株のみを使用します。

方法

- 上記の方から提出された便検体より分離された菌株を用いて、以下の検討を行います。
 - ① 抗菌性物質感受性試験
抗菌薬、植物由来天然抗菌性物質、細菌の産生するバクテリオシンを用いて、*C. difficile* に対する抗菌活性を検討します。
 - ② バクテリオシン産生菌との共培養試験
 - ① で抗菌活性を認めたバクテリオシン産生菌を用いて、*C. difficile* 菌と共培養を行い、*C. difficile* の増殖阻害能を評価します。
- 種々の抗菌性物質の感受性を評価した結果、感受性が低い *C. difficile* 菌が認められた場合には、ゲノム解析などを行い、その耐性因子を同定します。

いずれの場合もどなたからの検体かわからないように匿名化し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。菌株のみの使用であり、個人情報は一切利用しません。

試料・情報の管理責任者

広島大学医系科学研究科 細菌学教室 教授 小松澤 均

個人情報の保護について

情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。また、研究に試料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞1丁目2-3

Tel: 082-257-5635

広島大学医系科学研究科 細菌学教室 教授 小松澤 均 (研究責任者)

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5541

広島大学病院検査部 准教授 横崎 典哉 (協力施設責任者)

広島大学病院診療支援部臨床検査部門 副部門長 櫻山 誠也 (協力施設担当者)